

国際平和拠点ひろしま構想推進計画（案）に係る県民意見（パブリックコメント）
とその対応について

1 意見の件数

2件（2名）

提出方法：電子メール2人

2 県民意見（パブリックコメント）の内容と対応について

区分	意見の概要	対応	該当頁
復興・平和構築のための人材育成	<p>人材育成と書いてある内容が夢物語ではないか。もっと身近なところから始めるべきだと思う。広島市では8月6日を登校日とし平和教育を行なっているが、県全体では行なっていない地域もある。私が住んでいる安芸太田町も父母が学校と相談し、やっと平和教育が行われるようになった。2月に署名活動で街頭に立ったが、同世代の人たちからは見向きもされない。平和構築のための人材育成を本気で行なっていくなら広島県全体で平和教育を行なっていくべきだと思う。(10代女性)</p>	<p>県内の公立学校では、学習指導要領にのっとり、社会科や総合的な学習の時間など全ての教育活動を通して、地域の実情や生徒の発達段階に応じて創意工夫して、平和教育を実施しております。</p> <p>他方、本県では、次代を担う国際平和貢献人材を育成するため、高校生等を対象に核軍縮等に関する国際的課題の学びを深める「グローバル未来塾 in ひろしま」や、海外及び県内高校生が国際平和について議論し、平和のメッセージを発信する「ひろしまジュニア国際フォーラム」を開催しています。</p> <p>今後も、広島県の平和教育がさらに充実するよう、上記未来塾やジュニアフォーラム及び各校の取組の成果を共有などして平和学習の改善に取り組むとともに、ジュニアフォーラム等の取組については、より広く周知を図って参ります。</p>	6頁
持続可能な平和支援メカニズムの構築	<p>今後の主な取組欄に「資金の集積」という表現があるが、拠点構想とは違って、計画の中で使う表現は、県民にとってもう少し分かりやすい言葉にして欲しい。(60代男性)</p>	<p>ご指摘を踏まえて、「資金の獲得」という具体的な表現を使用することにします。</p>	8頁